

やまだの風

1月20日、山田校区コミュニティ恒例行事の「どんど焼き・餅つき」が山田小学校のグラウンドと体育館で盛大に行われ、地域の大勢の方々が、厄払いとつきだてのお餅を楽しんだ。〈写真特集3面〉



今年も無病息災を祈って燃え上がる炎



リサイクル学習コーナーで説明を聞く

環境施設見学へ

環境問題の意識を高める施設見学会が2月5日(17人)と6日(21人)の2回に分けて行われました。6日の見学会に同行取材させていただきました。コースは(仲間・遠賀リサイクルプラザ↓八幡東区にある北九州

環境デザイン部会

平成31年3月25日
第46号
山田校区コミュニティ
運営協議会
会長 中村 重夫
282-5767

市環境ミュージアムと九州製紙北九州工場) 最初の目的地仲間・遠賀リサイクルプラザは、中間市・遠賀郡4町(13万6千人)から発生するごみのリサイクル処理施設で、1日27・6トンの処理をしているそうです。 研修室でスライドやビデオで施設の説明を受け、その後、工場棟に移動し、ビン・カン処理施設、ペットボトル・紙パック・トレイ用処理施設見学↓プラスチック製容器包装選別ライン見学を見学しました。まず、驚くのは日常ごみの多さです。日常便利で快



中間・遠賀リサイクルプラザ見学者一行



ビン・カン受け入れホッパーの見学

適な文化生活を送るためには、ごみが出るのはいたしかたないでは済まされないので、私たちが一人ひとりがごみの分別や家庭から出る生ごみ「食品ロス」をいかにして減らしていくかを真剣に取り組んでいく必要があります。(プラスチックなどとは拠点回収ボックスを利用してください) 次の目的地である北九州市環境ミュージアムでは北九州市の公害の歴史と克服への取り組みを学びました。最後の見学先は九州製紙北九州工場(上質古紙からトイレットペーパーを生産)トイレットペーパーが出るまでの一連の工程に、皆さん驚いていました。

安全・安心部会

コミュニティ防災訓練実施

2月9日、山田校区コミュニティの第3回防災訓練を行いました。当日は寒くて朝から小雨模様で、雨が降ったりやんだり
の天気でしたが、それでも、参加者は14自治区より47人・防災
士4人・役場4人・第4消防分団8人・山田小学校教師2人・
山田校区役員・世話人9人の計74人が参加しました。

はじめに10時より座学で30分ほど日本防災士委員の吉武防災士さんより新し非難情報につ



座学による、昨年新しく変更になった非難情報の勉強会

いて説明がありました。

いよいよ訓練の始まる時に小雨が降りだし、土のうづくりと土のう積み訓練は中止となりました。

体育館で簡易担架づくりと担架搬送法と心肺蘇生法とAEDの使用手順の実践訓練を行いました。



担架を毛布と竹で作る方法



着ているもので担架を作る方法



簡易担架による搬送訓練

47人の方にご協力いただきましたアンケート結果

- ①あなたの家では、災害への備えは出来ていますか。(複数回答)
 - ・飲料水を備蓄している (21人)
 - ・非常食を備蓄している (14人)
 - ・家具の転倒防止をしている (14人)
 - ・上記全部やっている方 (4人)
 - ・何もやっていない (15人)
- ②あなたの家では、非常持ち出しバッグの準備は出来ていますか。
 - ・準備している (21人)
 - ・何もやっていない (26人)
- ③あなたの自治区では防災訓練を行っていますか。
 - ・毎年やっている (14人)
 - ・やったほうがいいと思っている (17人)
 - ・やっていない (16人)
- ④このような防災訓練は役に立つと思いませんか。
 - ・役に立つと思った (30人)
 - ・まあまあ役に立つと思った (16人)
 - ・あまり役に立つとは思わなかった (1人)
- ⑤今後もこのような訓練を続けるべきと思いますか。
 - ・今後も続けるべき (32人)
 - ・どちらかと言うと続けたほうがよい (15人)



救命処置 AEDの説明



ハイ このリズムに合わせて 1・2・3

第10回 どんど焼き・餅つきで無病息災を祈る



地域のボランティアの皆さんによるもちづくり会場



外人も餅つきに参上つかまつり候



地域の人とのふれあいによる子ども餅つき



きな粉餅もおいしいけど、ぜんざいもいいね!

小正月を迎えた1月20日、山田校区コミュニティ恒例行事の「どんど焼き・もちつき」が催され、例年以上のにぎわいになりました。

朝方は小雨模様でどんど焼き櫓の正月飾りの飾りつけは元氣ハツラツ部会の役員・世話人さんの頑張りです。小雨の中で行われました。点火式の11時頃には天気も回復し快晴の中で点火式を行うことができました。

点火して20分弱で燃え上がる炎に今年の無病息災を祈る人、ワァと歓声を上げる人などそれぞれに楽しみました。体育館では9時から始まった「もちつき」には行列が出来ていました。もちをつくのはPTAのお父さんがたです、また新しい試みとして、PTA夕ディによる「ぜんざい」も登場しました。今年も小正月行事として楽しい一日となりました。



点火式



無事点火完了



いよいよ燃え始める炎

ちよっと

いりお話



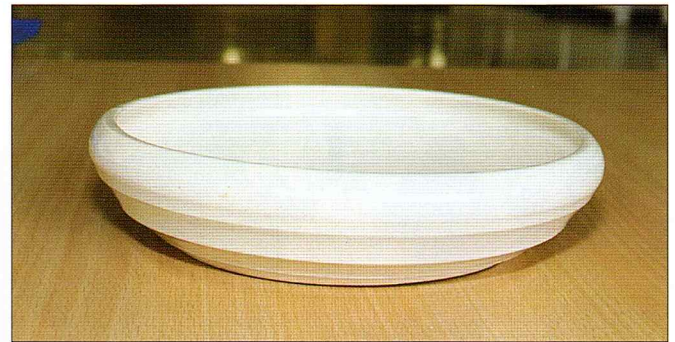
久保田 節子さん

今回は、ちよっといいお話を小耳にしたので旭南区の久保田節子さんに取材をさせていただきました。



ごはん茶碗 (径13㍍×6㍍・重さ480㍉)

久保田さんのご主人は脳こうそくで5年前に倒れ、退院後リハビリを頑張りましたが左半身



カレー用皿 (径18㍍×4㍍・重さ550㍉)

に麻痺が残り「はし」が使えなくなりしました。

一人で食事がスプーンでしか出来なくなり、特にねばりけのあるご飯類を食べるのが難しかったそうです。

久保田さんは何とかもう一度自分の手で、自分のタイミンクで食事をさせてあげたいとの必死の思いで、窯元を訪ねたりいろいろ陶器市に出かけて、ご主人が一人でスプーンを使って食事が出来るような「うつわ」がないか探したそうですが、どこにもなかったそうです。

そんな時、山田の広報紙

「やまだの風44号」に掲載されていた、すごすぎる緑ヶ丘区の堀 隆吉さんの事を思い出し

緑ヶ丘区の遊び名人 またまたやりました



堀 隆吉さん

陶芸歴40年の遊び名人の探心が騒ぎ出し、さっそく試作品づくりに取り組みました。

まずはご飯用の「うつわ」でスプーンですくう時に①食器が倒れたりズレないで動かないようにするにはどんな形にするか②「うつわ」の重さはどのくらいにするか③スプーンですくいやすくするにはどんな形にするか、何点か試作品を作り、使う人の身になつて自分で何度もテストをして検証をしたそうです。

その結果、ごはん用茶碗は底を平らにし、重さも出来る限り軽くしたそうです(径13㍍×高さ6㍍・重さ480㍉)うつの上部は内側にカーブした縁がストッパーのような役目を

同じ「文化財の会・岡垣」のメンバーでもある堀さんに事情を相談されたそうです。

を果たし、スプーンですくいやすくしたそうです。

家庭内が明るくなった

このご飯用茶碗を使ったご主人は大変喜んでそうです。

自分一人で、自分のタイミンクで食べられるようになったことで明るくなり、食事が楽しいようですと奥さまが語ってくれました。堀さんは次にカレー皿を作り、プリン用のうつわまでも作ってくれたそうです。

最近では遊び心を活かした、湯飲み茶碗の中ほどが大きくへこんだ面白い形の湯飲み茶碗を考案したそうです。この形は、手の不自由な人や高齢で握力が衰えた方がしつかりと握れるようにと、堀さんの思いやりとやさしさから生まれた湯飲み茶碗であちこちでさしあげているそうです。

この湯飲み茶碗は大人気で公民館に置いていてもすぐになくなるそうです。堀さんあなたは本当にすごい。



いらっしゃいませ〜！ みんなでいろいろなお店屋さん 作ったよ！！

岡垣第一幼稚園

TEL 282-0235



http://www.okagaki-daiichi.com

